

皆様 お疲れ様です。

6月に初の40度超えを観測し、東京でも観測史上最も早い猛暑日が到来、3日連続で35度を超えました
 記録的な暑さになった理由の1つは、太平洋高気圧が張り出したこと、それにより晴れて暑い空気に日本列島全体が覆われました
 更に関東圏は山を越えた暑い風が吹き下ろすフェーン現象により特に気温が上がりました。
 最近には特に【熱中症】や【熱中症警戒アラート】という言葉をよく耳にします。
 更に、更に全国初の【電力需給ひっ迫注意報】が発令 猛暑とコロナの影響でストレスはMAXです。

まだまだ8月は始まったばかりです。 猛暑の到来はここからです、気温上昇がもたらす甚大な被害はこれからなのに、全世界でのコロナの感染拡大や
 や円安によりほとんどの食材や消耗品その他生活用品が何度も何度も値上げが繰り返されています。
 今が一番最悪という言葉を目にして、3年が過ぎましたが、一体終わりはあるのでしょうか？

緊急報告！ 猛暑による野菜被害



- ①【千葉 大玉トマト】 急激な温度変化による軟化
- ②【群馬 キャベツ】 猛暑、豪雨の影響でとろけ
- ③【群馬 キャベツ】 水分不足、過度な湿度 葉の紫化
- ④【埼玉 ブロッコリー】 高温障害 生育遅れ 芯腐れ
- ⑤【千葉 ミントマト】 猛暑による生育遅れ 着果率の低下
- ⑥【群馬・長野 ロメインレタス】 猛暑 焼け・とろけ
- ⑦【大田市場の茄子】 全国全ての産地にて高温による変形
- ⑧【大田市場のニラ】 全国全ての産地にて高温による劣化
- ⑨【愛知 大葉】 斑点病 高温により黒い点が出る
- ⑩ 産地から納品された品質不良で返品野菜の数々

野菜の状況が日々大荒れです

急な梅雨明けや6月下旬以降の異常な猛暑で農作物が甚大な被害にあっています
 今回の被害は猛暑だから。。。と言う簡単な話では無く、本来は8月に来る猛暑が6月に来てしまっているのが7月中旬から、8月、9月に猛暑対策として
 育てられていた野菜が壊滅的となり、これから8月の1か月間は高原野菜の一部と北海道の野菜のみに頼る状況となっております
 しかしながら、連日の大雨で高原野菜は腐りやとろけのオンパレード、北海道の産地だけでは需要と供給のバランスは穴埋め出来ません。
 ましてや北海道からの輸送は人件費や物流コストの上昇により価格大高騰間違いなしです。
 これからの1ヶ月、先日もセルフイーユの供給不可の緊急連絡をさせて頂きましたが、、野菜の品質と欠品等皆様にご迷惑をおかけする事が多く出てくるかも
 しません。

産地で収穫した野菜は問題無い様に見えますが、猛暑で元気のない野菜は流過程や店舗に納品されてから、急激に状態が悪化します。
 店舗に劣化した野菜が届かない様に、産地出荷時や問屋検品時にしっかりチェックしております
 但し、私達同様に青果生産者の皆様も大きな被害を受けており、大変な状況に見舞われています。
 生産者と私共は持ちつ、持たれつの関係でなくてはなりません。 店舗において多少の品質不良かもしれませんが、使用できる野菜に関してはどうか
 ご理解して使用して頂けるように皆様ご協力宜しくお願いします。

特に8月の1ヶ月は供給を最優先として調達致しますので、皆様ご理解宜しくお願いします！